

2025年3月14日

## 最近の長野県経済の動向 (月例調査)

### 概要

全国景気*	一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している
長野県内景気	足踏みの状態にある
12月の生産動向	生産は持ち直しの動きに弱さがみられる
1月の個人消費	乗用車新車販売は4カ月ぶりに前年を上回る
1月の公共投資	公共工事保証請負額は3カ月連続で前年を下回る
1月の住宅投資	新設住宅着工戸数は3カ月ぶりに前年を上回る
1月の雇用情勢	有効求人倍率は2カ月ぶりに前月を下回る

今後は、個人消費に影響を与える実質賃金の伸びがプラスに転じ、推移していくかどうかに注視する必要がある。

※内閣府「月例経済報告(2025年2月)」より

照会先

一般財団法人 長野経済研究所 調査部

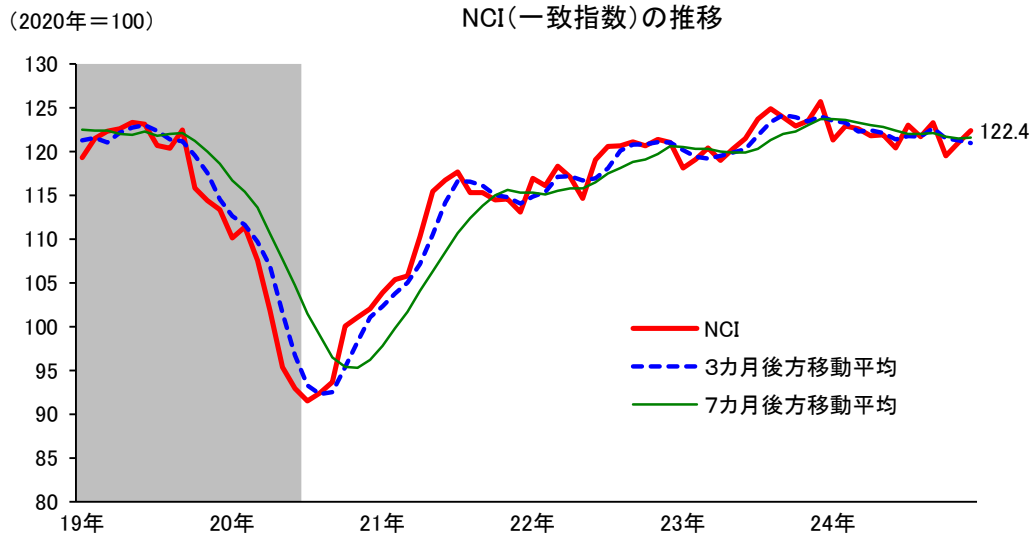
担当 桑井、須田

電話 026-224-0501

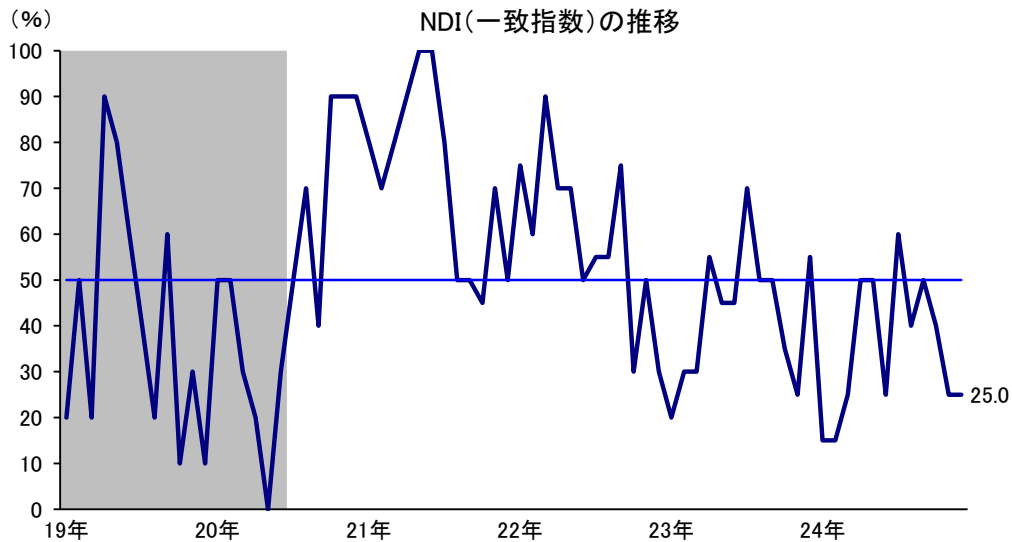


## 景気動向指数

- ・12月のNCI(一致指数)は、122.4と前月と比較し+1.4ポイントとなった。3カ月後方移動平均は同△0.3ポイントと3カ月連続で低下した一方、7カ月後方移動平均は同+0.1ポイントと3カ月ぶりに上昇した。NCI(一致指数)は、足踏みを示している。
- ・NDI(一致指数)は、25.0%となり、景気判断の分かれ目である50.0%を3カ月連続で下回った。



(資料)当研究所「長野県景気動向指数」  
 (注) 1.NCIは長野県の景気変動の大きさやテンポ(量感)を示す  
 2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す

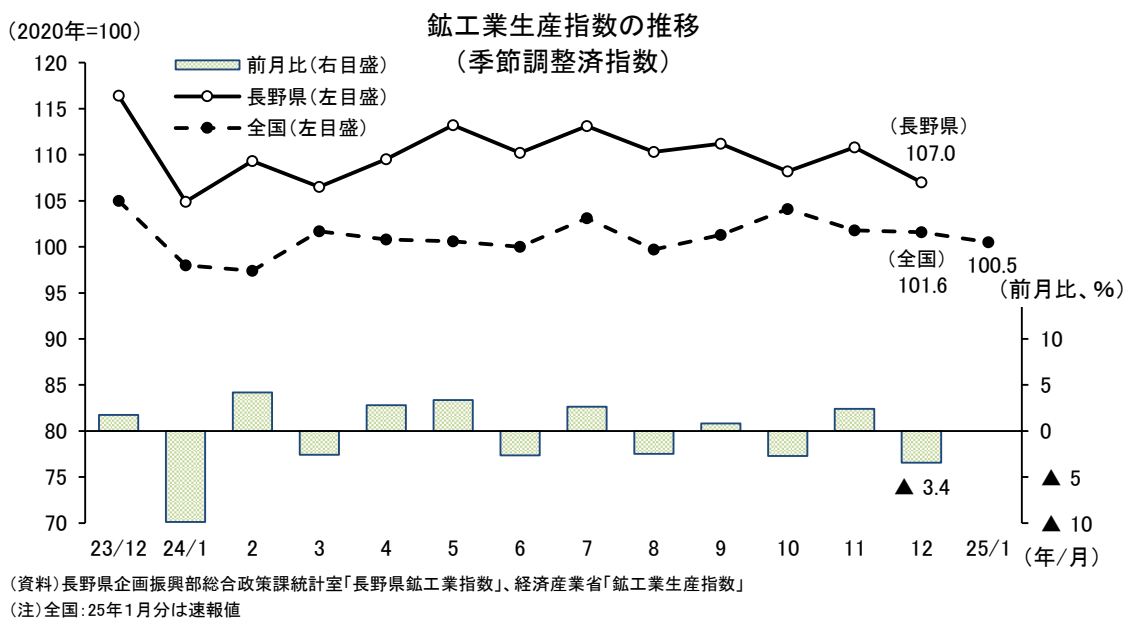
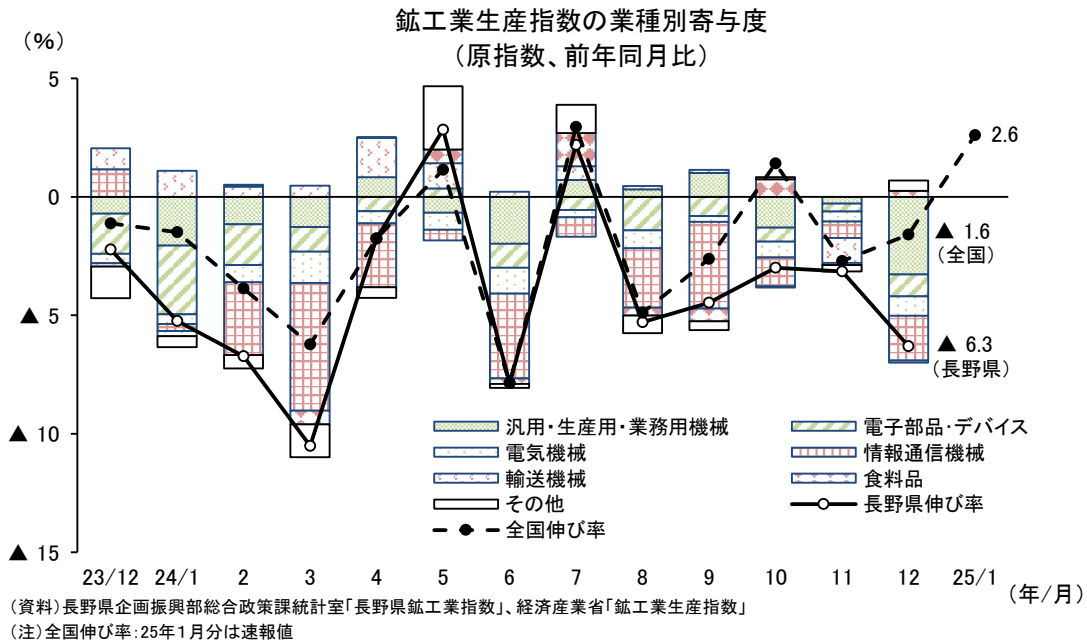


(資料)当研究所「長野県景気動向指数」  
 (注) 1.NDIは長野県の景気の方向、波及度合いを示す  
 2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す

# 生産

## 生産は持ち直しの動きに弱さがみられる

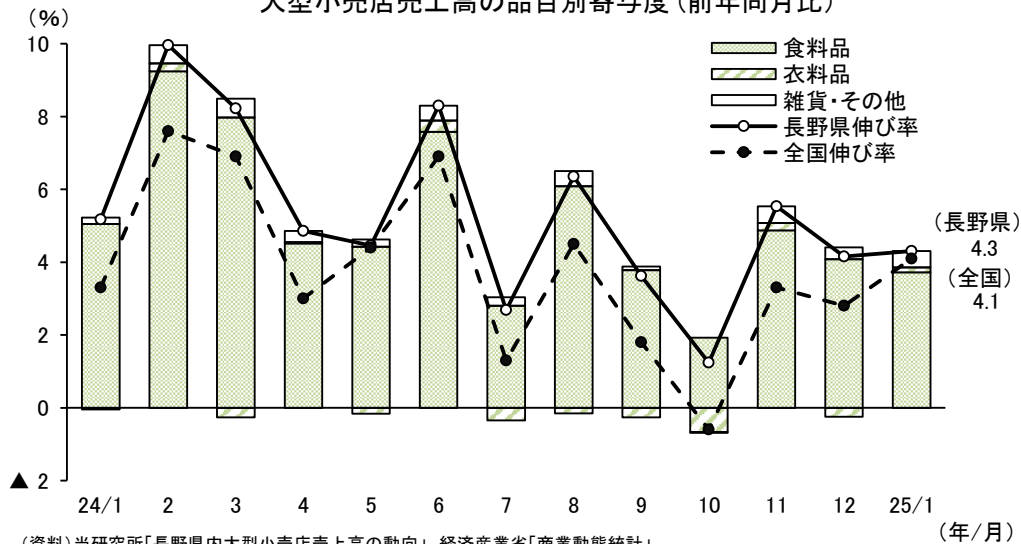
- ・12月の鉱工業生産指数は、原指数が前年同月比△6.3%、季節調整済指数が前月比△3.4%となった。
- ・季節調整済指数は2カ月ぶりに前月を下回り、原指数も5カ月連続で前年を下回った。中国景気の低迷に伴う外需の縮小が続くほか、IT関連需要も伸び悩み、生産は持ち直しの動きに弱さがみられる。
- ・主要業種別にみると、「食料品」などが前年を上回ったものの、「汎用・生産用・業務用機械」「情報通信機械」「電子部品・デバイス」などが前年を下回った。



## 乗用車新車販売は4カ月ぶりに前年を上回る

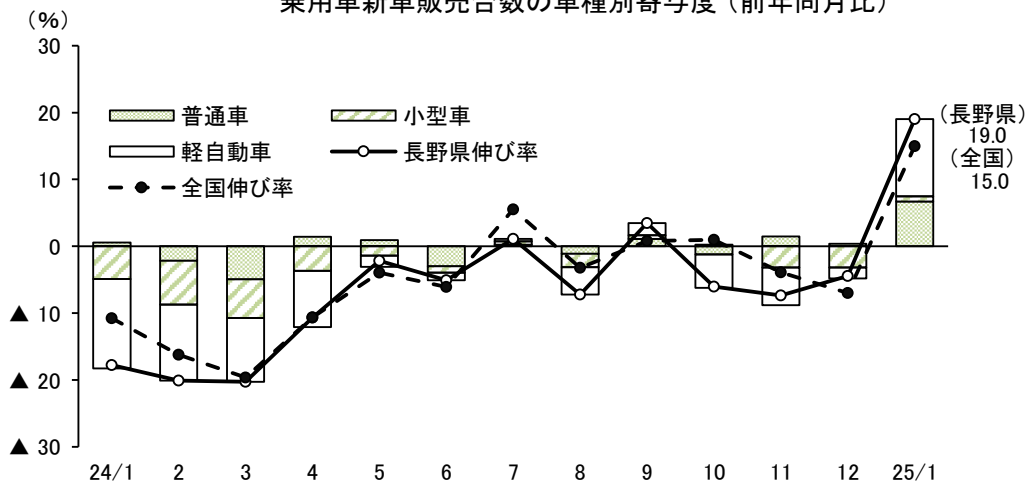
- 1月の大型小売店売上高は、前年同月比+4.3%（売場面積調整前）となり、40カ月連続で前年を上回った。食料品は、コメや生鮮食品等の販売価格の上昇などから同+4.4%となった。衣料品は、初売りを中心に堅調だったことから、同+2.3%となった。雑貨・その他は、化粧品や日用品が堅調で、同+4.4%となった。
- 1月の乗用車新車販売は、一部完成車メーカーにおける新安全・環境規制への対応遅延の影響が緩和してきていることなどから、前年同月比+19.0%と4カ月ぶりに前年を上回った。車種別にみると、普通車は同+16.9%と3カ月連続で前年を上回った。また、小型車は同+3.9%と3カ月ぶりに、軽自動車も同+28.6%と4カ月ぶりに、それぞれ前年を上回った。

大型小売店売上高の品目別寄与度（前年同月比）



(資料) 当研究所「長野県内大型小売店売上高の動向」、経済産業省「商業動態統計」  
 (注) 全国伸び率: 25年1月分は速報値

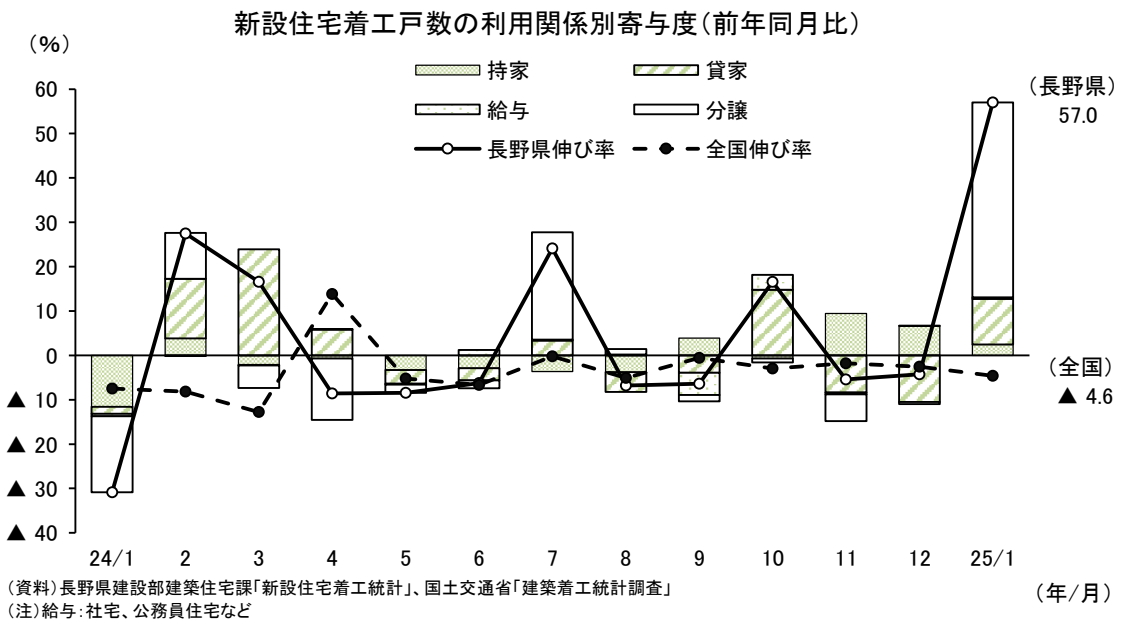
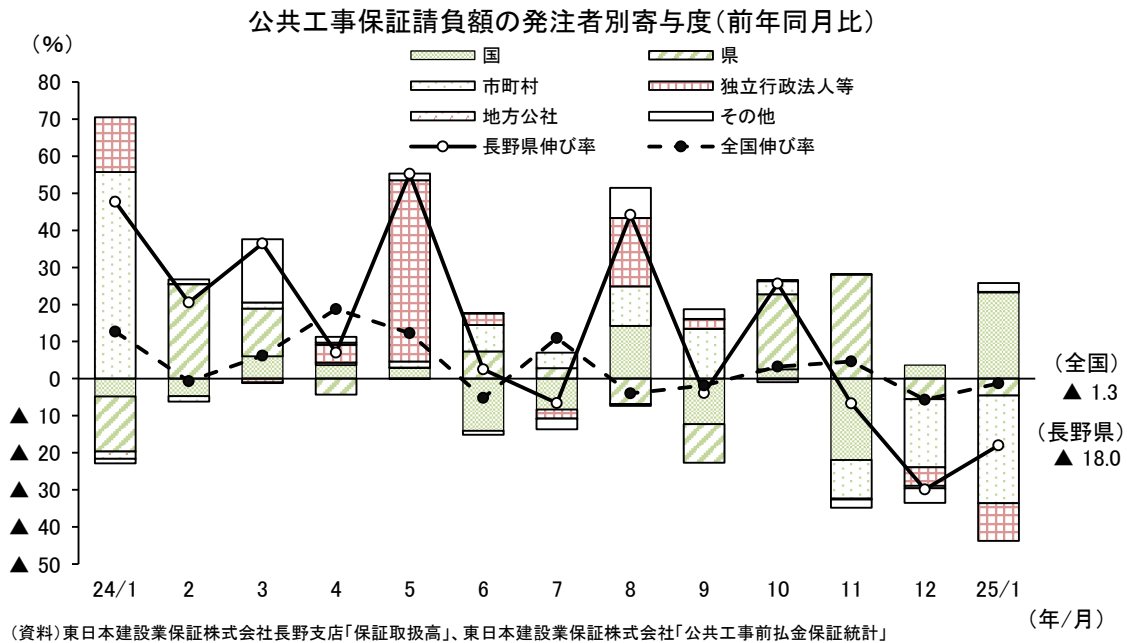
乗用車新車販売台数の車種別寄与度（前年同月比）



(資料) 北陸信越運輸局長野運輸支局「長野県における新車新規登録台数(検査・届出)台数」、  
 一般社団法人日本自動車販売協会連合会「車種別販売台数」、  
 一般社団法人全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売台数確報」  
 (注) 普通車: 3ナンバー車、小型車・軽自動車: 5ナンバー車

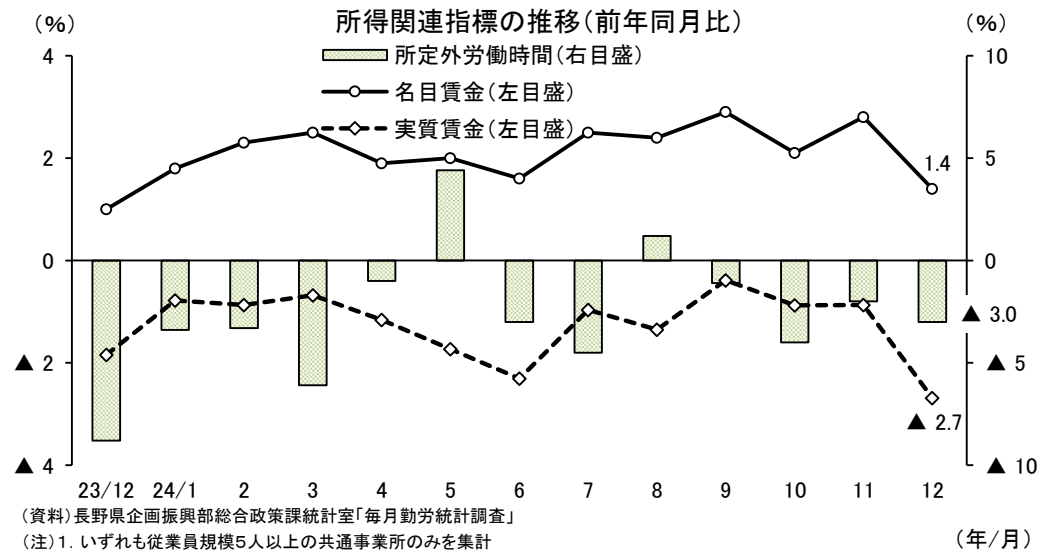
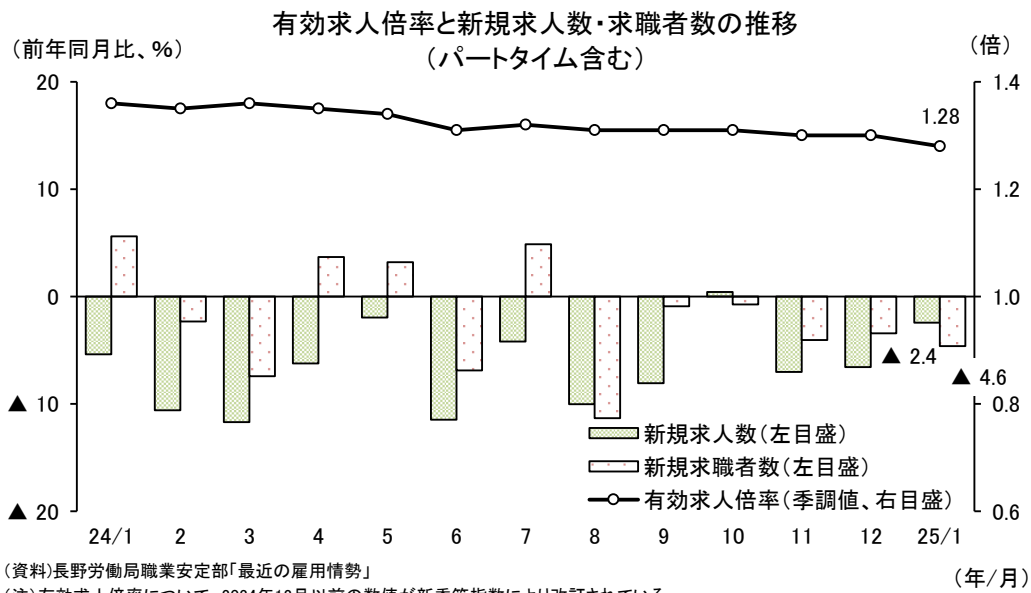
## 公共工事保証請負額は3カ月連続で前年を下回る

- 1月の公共工事保証請負額は、前年同月比△18.0%の91億5,800万円となり、3カ月連続で前年を下回った。発注者別にみると、国が同+625.9%、その他が同+236.8%と増加したものの、県が同△14.5%、市町村が同△54.3%と減少した。
- 1月の新設住宅着工戸数は、前年同月比+57.0%の1,022戸と3カ月ぶりに前年を上回った。利用関係別にみると、持家が同+4.6%、貸家が同+29.4%、分譲が同+397.2%といずれも増加した。



## 有効求人倍率は2カ月ぶりに前月を下回る

- ・1月の有効求人倍率は、前月比△0.02ポイントの1.28倍となり、2カ月ぶりに前月を下回った。
- ・新規求人数(全数)は前年同月比△2.4%となり、3カ月連続で前年を下回った。このうち常用は同+0.5%、パートは同△3.1%となった。主要産業別では、建設業が同+5.3%、医療・福祉が同+2.5%、サービス業が同+0.5%となるなど5産業で前年を上回ったが、宿泊業・飲食サービス業が同△17.2%、卸売業・小売業が同△6.5%、製造業が同△2.4%となるなど8産業で前年を下回った。
- ・新規求職者数(全数)は、前年同月比△4.6%と6カ月連続で前年を下回った。
- ・12月の名目賃金は前年同月比+1.4%と44カ月連続で前年を上回ったが、実質賃金は同△2.7%と36カ月連続で前年を下回った。所定外労働時間は同△3.0%と4カ月連続で前年を下回った。



# 県内地域別・近隣都県別有効求人倍率

## 有効求人倍率は4地域いずれも前年を下回る

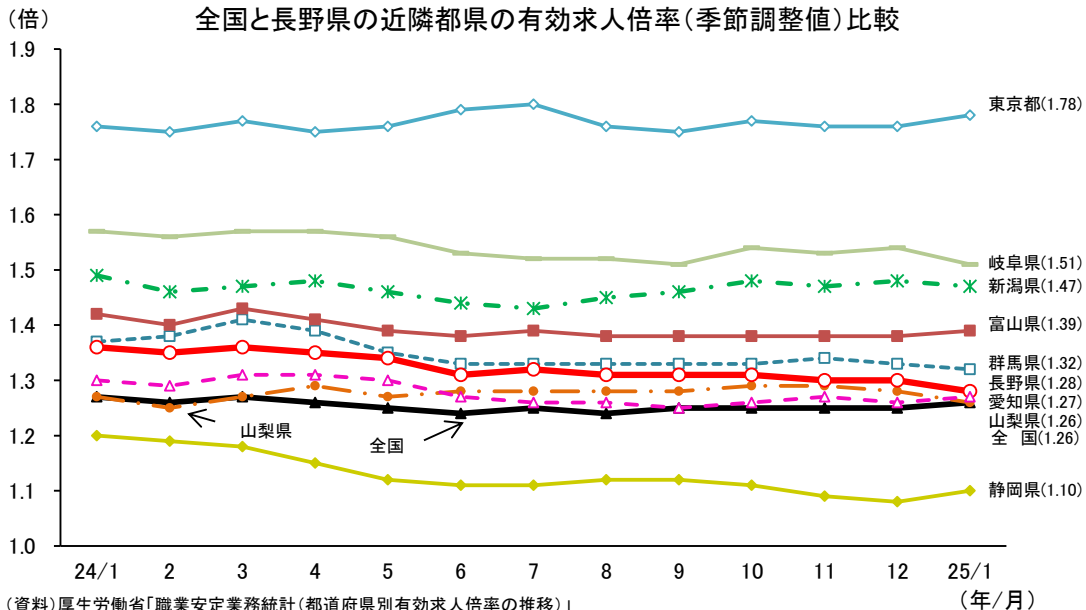
- 1月の地域別有効求人倍率(全数)は、北信が前年同月比△0.07ポイントの1.34倍、東信が同△0.12ポイントの1.38倍、中信が同△0.07ポイントの1.39倍、南信が同△0.10ポイントの1.30倍となった。
- 職業安定所別有効求人倍率(全数)は、佐久が1.48倍と最も高く、次いで長野が1.44倍となった。
- 長野県の有効求人倍率は52カ月連続で全国を上回り、順位は前月から1つ上げ19位となった。

長野県職業安定所別有効求人倍率(実数値)(25年1月)

地域	北 信(1.34) (前年同月比▲0.07)				東 信(1.38) (前年同月比▲0.12)		中 信(1.39) (前年同月比▲0.07)			南 信(1.30) (前年同月比▲0.10)		
	長野	篠ノ井	飯山	須坂	上田	佐久	松本	木曾福島	大町	飯田	伊那	諏訪
全 数	1.44	1.22	1.18	1.31	1.27	1.48	1.41	1.24	1.28	1.40	1.25	1.27
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.09	▲ 0.12	▲ 0.11	0.18	▲ 0.18	▲ 0.05	▲ 0.04	▲ 0.15	▲ 0.29	▲ 0.07	▲ 0.05	▲ 0.15
うち常用	1.26	1.19	1.04	1.18	1.19	1.54	1.28	1.27	1.18	1.33	1.11	1.18
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.06	▲ 0.12	▲ 0.17	0.14	▲ 0.16	▲ 0.07	0.03	▲ 0.18	▲ 0.27	▲ 0.06	▲ 0.05	▲ 0.15

(資料)長野労働局職業安定部「最近の雇用情勢」

(注)実数値とは、新規学卒を除きパートタイムを含む季節調整前の原数値



(資料)厚生労働省「職業安定業務統計(都道府県別有効求人倍率の推移)」

(注)1. 新規学卒を除きパートタイムを含む

2. 長野県の近隣都県および、経済規模、産業構造が類似している県

3. 2024年12月以前の数値が新季節指数により改訂されている